

2年 竹谷 雅

私が三重県で行われた全国SBP交流会で学んだことは、青森津軽SBPの活動にはもっと工夫が必要だということです。

他の団体のプレゼンテーションを聞いて、青森津軽SBPはまだ完成には遠いと感じました。例えば南伊勢高校では、直筆の手紙を入れていました。その他にも、自分たちで商品を開発している学校もあり、どうすれば商品が売れて活性化につながるかということをややかと考えて実行していました。

青森津軽SBPは3校連携という形を取っていることもあり、まだ活動が始まったばかりで3校が集まるのが難しく大変です。そのため、一つのことを決めるのに時間がかかってしまい、今は商品やデザインを決めることで精一杯になっています。他の団体の工夫や良いと思う所を取り入れ、自分たちのオリジナルの物を作りたいと思います。

課題も見つけることができ、他県の人とも交流ができて、とても有意義な時間を過ごすことができました。



1年 古川 愛華

初めて作ってもらった自分の名刺を持って、期待を胸に私たちは三重県に行ってきました。三重県で行った交流フェアでは、青森県の他にも、福島県、三重県、沖縄県などたくさんの人と交流してることができました。

SBPの活動をし、地域のために力になりたいと同じ志を持った人たちと出会い、たくさん仲良くなる事ができて本当に嬉しかったです。また、発表会の方では、他の県の人たちの発表を見て、私たちよりももっとたくさん活動していて、私たちはまだまだだなと思いました。そして、来年までに私たちももっと活発に活動して、他の高校のように素晴らしい内容になればいいなと思いました。



1年 大屋 レナ

私たちは、SBP交流会に参加するため、三重県に行ってきました。交流会では、青森県の鱈ヶ沢高校と木造高校深浦校舎のSBPや、三重県、沖縄県、富山県のSBPが集まり、それぞれの町の特産物を販売しました。販売は、古川愛華さんと私でパンフレットを配りながら呼び込みをし、他の4人が店員をしました。2時間かけて商品を販売しましたが、お金を稼ぐ大変さがわかりました。どのような商品が売れるのか分かったので、これからの活動に活かされるいいなと思いました。

他県の高校生とも交流し、仲良くなる事ができたのが嬉しかったです。とても充実した夏休みになりました。



1年 野上 凌

今回のSBP交流フェアでは、他県で活動しているSBPの取組を知ることができ、とても勉強になりました。

僕たちは、町特産品の商品販売を行いました。初めは声を出すのが少し恥ずかしく、なかなか声を出せませんでした。慣れてきて大きな声を出せるようになって、最初は素通りしていく人が多く、とても悲しかったです。しかし、声掛けをしているうちに見に来る人も多くなり、初めて商品が売れた時はとても嬉しかったです。その後も呼びかけを続け、どんどん商品が売れ、1つの商品を完売することができてとてもよかったです。

この交流フェアでは、色んな人と交流することができ、様々なことが学べたので、もしまたこのような機会があったら、行きたいなと思いました。



1年 佐々木 彩乃

SBP交流フェアに参加してみて、高校生のうちにとってもよい体験をさせてもらったと思いました。特に、3日目の販売会のときは、楽しかったし、学ぶことも多くあったと思います。まず、販売会という普段体験できないことができたこと。私は、将来自分の作ったものを売ったりする職につきたいと思っているし、いかにしてスムーズにお客様に商品を買ってもらえるかなどを考えるいい機会になりました。今度、同じような機会があれば、呼び込みも体験してみたいと思います。

今回の交流フェアは、これからの自分たちにとって、大きな一歩になってくれると思うし、失敗したことがあったとしても、それも糧になっていくと思います。ですので、今回の交流フェアに関わった全ての人に感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

1年 小寺 諒平

SBPの活動による3泊4日の他校との交流はとても良い刺激になりました。

交流会3日目に行われた計画発表会では、自分達の計画の甘さを思い知りました。SBPの活動は地域の特産品などを活かして、その地域を活性化させようというものです。他の学校は本当にすごかったです。それぞれの計画が、地域の特色を最大限に活かしたもので、かつ自分達の学校にしかできない他には真似できないような計画でした。それに対し僕たちは、発足して間もないということもありましたが、あまりいい計画とは言えませんでした。

しかし、この交流会は、ただ計画の質を比べるためだけの機会ではありません。この発表会を通して、自分達の計画をさらによりよいものにしていくと思っています。

